

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成31年 4月 5日

1級受検番号 NO 03F1120139

氏 名 N・H

■1級技能士を目指したきっかけ

個人向けの面談だけでなく、キャリアコンサルタントへの教育・指導の機会が増えてきたことで、指導者として、自分自身のさらなるスキルアップや自己研鑽の必要性を感じ、指導者レベル、スーパーバイザーとして位置付けられる1級キャリアコンサルティング技能士の取得を目指しました。

■当初の勉強法

受験対策としてまとめた時間がほとんど取れずに気持ちばかり焦りましたが、普段から国の施策や労働法規などに目を通すクセをつけたり、日々の仕事の中でもキャリア理論と結びつけて考えるようにしたりするなど、問題を捉えキャリアにつなげる時間を意識的に増やしました。

■合格のきっかけ

論述試験で求められていることと、面接試験で求められていることが適切に理解できたことが合格につながったと思います。とくに面接においては、試験の前月に1級キャリアコンサルティング技能士の会の「本番さながらシュミレーション1級面談試験対策個別指導レッスン」に参加し、実際の評価区分を踏まえて30分で行われる面接の内容がしっかり理解できたこと、口頭質問でなにを求められているかがわかり解答のコツがつかめたこと、が良かったです。

■学科試験の勉強

キャリア理論のポイントを絞って覚えたり、最新の法律や国の施策に目を通したりするなど、最低限のことしかできませんでした。直前に過去問を3年分解答し、問題文の傾向や試験の感覚をつかむことで、落ち着いて受験できました。

■論述試験対策

過去問を3年分解答してみて、ある程度自分なりの型を決め、どのようなパターンにも対応できるよう練習しました。ただ、汎用性のある解答でなく、問題に合った具体的な解答を心がけました。時間を計り、実際に手書きでどれだけ解答できるかを、何度も繰り返し練習しました。

■面接試験対策

実際に試験問題のロープレを練習したのは、「本番さながらシュミレーション1級面談試験対策個別指導レッスン」だけでした。そこで、自分の傾向や改善点を客観的に理解できたことや、評価区分や評価基準を意識することができるようになったおかげで、面談がなんとなくスムーズに行えるようになりました。1級の場合、ロープレ練習は、実際に面談をよく理解している方でないとい事例相談者役はできないため、ほとんど練習の機会がありませんでしたが、合格バイブル本のDVDを移動の車の中で繰り返し流し、面談の流れを耳からも覚えるようにしました。

■受検される方へメッセージ

自分なりに一通りの流れを頭で理解できた後は、いかに本番で自分らしさを発揮できるかが鍵だと思います。その人らしい雰囲気や指導者らしさは、目の前の事例相談者の悩みにいかに集中できるかにかかっています。学科や論述での学習の蓄積が面接試験にも活かされてくるはずです。そして、こうした試験への取り組みは今後の後進の指導にもきっと役立つことと思いますので、ぜひ諦めずにがんばってください。みなさまのご健闘を心からお祈りしています。